

教科	芸術	科目	書道 I	履修区分	必修	使用教科書	東京書籍『書道 I (901)』
添削指導回数	6	面接指導回数	2	単位認定試験回数	1	副教材等	NHK高校講座 東京書籍インターネット講座

学習の目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 ①書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
 ②書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
 ③主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する（タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ）。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴票：面接指導の出席と合わせ、①～⑧の計8時間となるように提出する。 ※視聴票による減免は原則4時間（6割減免）まで。
単位認定試験	添削指導、面接指導（視聴票を含む）を全て修了後に受験。
単位修得（認定）に当たっての基準	
評価方法	各単元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導 No.	面接指導			単位認定 試験	観点別評価		
		開講番号	開講期	視聴票		観点	評価規準	
				NHK高校講座				東京書籍インターネット講座
P. 4-17 「書道で学ぶこと」 用具・用材 姿勢・執筆法 漢字の書の成立と変遷	1	① ② ③ ④	I・Ⅲ期	1, 2 3, 4, 5 7, 8 10, 11, 12	P. 4-11 P. 7, 14-16 P. 17-41 P. 42-62	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している。書を構成する要素について、それら相互の関連がもたらす動きと関わらせて理解している。・日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。
思考・判断・表現	書写で学んだ漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した効果的な表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫している。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを感じて捉えている。							
主体的に学習に取り組む態度	自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。							
P. 17-41 楷書の特徴 表現を比べよう 「九成宮醜泉銘」 「孔子廟堂碑」 「雁塔聖教序」 「自書告身」	2	知識・技能	楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、楷書の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。					
思考・判断・表現	楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを感じて捉えている。							
主体的に学習に取り組む態度	自身の表現の意図に基づく表現、楷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。楷書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。							
P. 42-62 行書の特徴 「蘭亭序」 「争坐位文稿」 「風信帖」	3	知識・技能	行書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。					
思考・判断・表現	行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを感じて捉えている。							
主体的に学習に取り組む態度	自身の表現の意図に基づく表現、行書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。行書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。							
P. 63-77 草書の特徴 「真草千字文」 隷書の特徴 「曹全碑」 篆書の特徴 「泰山刻石」	4	知識・技能	草書・隷書・篆書の各古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。草書・隷書・篆書の各古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。					
思考・判断・表現	草書・隷書・篆書の各古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。草書・隷書・篆書の各古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを感じて捉えている。							
主体的に学習に取り組む態度	自身の表現の意図に基づく表現、草書・隷書・篆書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。草書・隷書・篆書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。							
P. 78-107 仮名の成立／仮名を書く準備 ／平仮名の単体 変体仮名／連綿 「蓬萊切」 「高野切第三種」 「関戸本古今和歌集」	5	⑤ ⑥ ⑦ ⑧	Ⅱ期	6, 9, 13 14, 15, 16 17, 18 19, 20	P. 63-65, 66-69, 70-73 P. 80-107 P. 110-134 P. 136-142	知識・技能	日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立について理解している。用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。	
思考・判断・表現	仮名の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。仮名の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを感じて捉えている。仮名の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。仮名の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを感じて捉えている。							
主体的に学習に取り組む態度	仮名の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。自身の表現の意図に基づく表現、仮名の古典の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。仮名の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。							
P. 108-142, 158-159 漢字仮名交じりの書の変遷 生活に広げる 篆刻・刻字	6	知識・技能	日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立について理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。					
思考・判断・表現	漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを感じて捉えている。							
主体的に学習に取り組む態度	書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。篆刻・刻字のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。							